神戸FCレディズ、高倉中、全日本女子大会へ出場

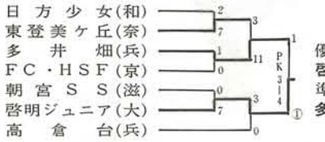
清水第8のV阻止なるか…

第5回全日本女子大会関西予選は、1次リーグが1月8日、順位決定リーグが1月15日と16日行われ、高槻女子FC、神戸FCレディーズ、西山高校クラブ、高倉中学が本大会への出場権を得た。

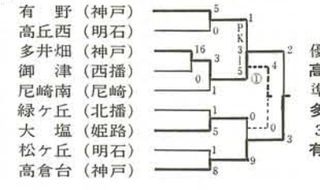
本大会は3月22日から25日まで東京で行われ、決勝戦は読売対日産のスーパー・カップの前座として国立競技場で行われる。

女子サッカーでは3年連続優勝している清水第八が抜群の力を持っているが、西山高校が2回戦で、神戸FCが準決勝で当たる。清水第八のV4をストップさせるのはどこか？関西代表チームの健闘を祈りたい。

第2回関西小学生女子大会結果（2月5日、大阪大正区千島公園）



第1回県小学生女子大会兼第2回関西小学生女子大会県予選結果（12月4日、赤塚山高）



第5回全日本女子選手権関西予選結果

▷1次リーグ

【A組】（1月8日、高槻北大冠小）

①高槻女子FC③兵庫教育大FC③神戸女学院中等部

【B組】（1月8日、西山高）

①西山高校クラブ②神戸女学院高等部③塩原女子高校

【C組】（1月8日、兵庫医大）

①神戸FCレディーズ②高倉中学③武庫川レディース

▷決勝リーグ（1月15、16日、西山高ほか）

高槻女子FC	4－2	西山高クラブ
高槻女子FC	2－2	神戸FC
神戸FC	1－0	西山高クラブ

①高槻女子FC②神戸FC③西山高クラブ

▷4～6位決定リーグ（　同　）

兵庫教育大FC	3－2	神戸女学院高等部
高倉中	9－0	兵庫教育大FC
高倉中	1－1	神戸女学院高等部

④高倉中⑤兵庫教育大FC⑥神戸女学院高

第5回全日本女子選手権大会組合せ

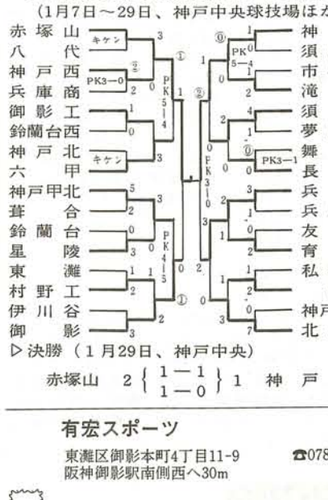
第3回兵庫県中学校新人大会結果（2月19日～26日、竜が台中ほか）

▷決勝（2月26日、竜が台中）

立花中（阪神） 2 { 1－0 / 0－1 / 1－0 / 0－0 } 1 御原中（淡路）

第34回神戸市中学校新人大会結果（1月15日～2月5日、六甲中ほか）

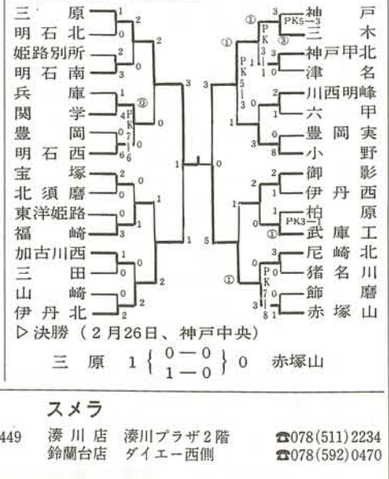
58年度県高等学校新人戦神戸市予選結果（1月7日～29日、神戸中央球技場ほか）



▷決勝（1月29日、神戸中央）

赤塚山 2 { 1－1 / 1－0 } 1 神戸

58年度県高等学校新人大会結果（2月11日～26日、神戸中央ほか）



▷決勝（2月26日、神戸中央）

三原 1 { 0－0 / 1－0 } 0 赤塚山

「より多くの経験をつんで学ぼう」

レフェリーを志す人へ
ワンポイント・アドバイス――⑨

市協会審判委員長　藤田利明

審判は理屈でわかっていてもそれを行動に表わすのが非常にむつかしいものです。

そこで、多くの試合の審判を経験することによって色々と学んでいきます。練習試合は審判にとってもよい練習の機会です。審判をするために必要ないくつかの例をあげてみますと、

1．ファウルとフェアーを見分ける力（特に激しいプレーと汚いプレーの区別）
2．ゲームの流れを読む力
3．反則が起りそうな地点の予知能力
4．選手の意図を知る力

その他、色いろあるでしょうが、どれをとっても一朝一夕には身につきません。実際に審判をして試合を振り返りながら、自分で反省もし、他の人に批評してもらったり、ほかの人の審判を見たりして学んでいきます。

どんなレベルの試合にも真剣に、向上心を持って審判をしなければよい審判員にはなれません。がんばりましょう。

神戸市社会人運営会議予定

次回　3月15日(木)

3月22日(木)、18時30分から王子登山研修所。社会人リーグに参加している各チームの代表者が必ず一人出席して下さい。今回は新年度の登録手続きです。

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として70円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

〒650 神戸市中央区八幡通2－1－10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
神戸市サッカー協会 ☎078-232-0753

なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。

本紙は右記の店にもあります

有宏スポーツ
東灘区御影本町4丁目11-9　☎078(821)8449
阪神御影駅南側西へ30m

塩谷スポーツ
兵庫区大開通7丁目5　☎078(576)0870
バンドウ化学南

MEN'S SHOP MAC
三宮センター街店　☎078(391)0895
ブレザーショップ、トーアロード店　☎078(391)0896
ドルチェ・マック、センター街店　☎078(332)0141

ヤノ運動用品
本店　中央区三宮町3-8-1　☎078(391)1121
ファイブ店　中央区三宮町2-7-8　☎078(331)4578
六甲、長田、白川台、名谷、西明石、高砂、姫路、岡山

スメラ
湊川店　湊川プラザ2階　☎078(511)2234
鈴蘭台店　ダイエー西側　☎078(592)0470

加茂 トアロード店
中央区三宮町3－8－8　☎078(392)0234
国鉄元町駅南側東へ100m

マヤスポーツハウス
灘区森後町1丁目8－8　☎078(841)8811
国鉄六甲道駅北 兵庫信用金庫六甲支店山側

ワールドスポーツ
東灘区深江北町4丁目7－3　☎078(453)2186
阪神深江駅北側信号西

Juchheim's
Für große und kleine Feinschmecker
Kobe-Frankfurt am Main
Seit 1892
ユーハイム

月刊
神戸のサッカー

1984 **2月号**

発行所　神戸市サッカー協会
神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
〒651　☎(078)232-0753
発行人および編集人　一北　四郎
神戸市灘区上野通6丁目3－12
〒657　☎(078)861-3100

毎月1回10日発行 購読料1部50円

第11回ウインター・フェスティバル

市内チームの活躍あざやか　小6の部

千歳 市少年リーグチャンピオン 県外チームも寄せつけず

お正月恒例の神戸ジュニア・ウインター・フェスティバル（神戸市協会、神戸FC共催、神戸市教育委員会、兵庫県協会、神戸新聞社後援）は、今年も1月6日、7日、8日の3日間、神戸中央球技場サブ、少年、磯上球技場、ポートアイランド球技場、私立灘中グラウンドを利用して開催された。

参加したのは、小学校5年生から中学2年生まで33チームで、それぞれ学年別に優勝を争い、中学生の部で神戸FCが、小6の部で千歳が、小5の部で交野FCがそれぞれ優勝した。

◀小6の部決勝　千歳SC対揖保JSC（1月8日　神戸中央サブ）

中学生の部も公式大会へ
初の王座は神戸FCジュニア（A）

▲中学生の部優勝　神戸FCジュニア（A）

これまでオープン戦として行われてきた中学生の部は、今年から小学生同様の公式大会となり、神戸FCジュニアが三重県の上野FCに得失点差で勝り、第1回のタイトルを獲得した。

中学生の部で上位グループと目されたのは神戸FC・A、上野FC、愛知FC、中位グループに米子SS、交野FC、津山SSが上げられる。神戸FC・Aは1次リーグで愛知を辛くも1－0と破り、中1主体の神野を下して決勝リーグへ進出した。決勝リーグでは神戸FCと上野FCがとも米子を破り、全勝同士で最終戦を戦った。前半3分に神戸FCが先行したがハーフタイム直前同点となり、逆に後半2分には上野が追加点を上げて優勢となった。しかし、神戸FCも17分BKからのロングパスを右ウイングがよく走りセンタリング、これを中で合わせて同点とした。神戸FCは上野のスピードある攻撃にしばしばピンチを迎えたが、全員の体をはったディフェンスとセントラルトレセンから戻った藤田の活躍で2－2と引き分け、得失点差で辛ろうじて優勝した。

なお、中1主体で参加した加古川の神野SCはまだひ弱い感もあったが、柔らかくボールが扱え体のバランスもよく、今後大変楽しみな好チームであった。

小6の部は、昨年から市少年リーグの上位7チームと神戸FCボーイズが市内から参加することになっているが、今年は市内各チームの活躍が特にすばらしかった。これまでは県外チームに上位をさらわれがちだったが、今年はベスト4に千歳、神戸FC、八多の3チームが進出した。昨年末の市少年リーグ1部決勝と同じ顔合せとなった準決勝の千歳対神戸FCは、再度千歳のエース田村の活躍で勝ち、決勝でも竜野の揖保少年団を2－1で下して初優勝を飾り、市内チャンピオンの貫ろくを見せた。

優勝した千歳の6年生チームは、中学生になってもクラブチームとして協会に登録される予定で、これまで市内に中学生のクラブチームとしては神戸FC以外になかったのだが、今後はこのような中学生のクラブチームが市内に増えてくる可能性がある。中学年齢での選手育成に問題をかかえる神戸のサッカー界としては、これまでの学校教育に依存した方法とはまた違った効果を生み出すものとして大いに注目されるところだ。

小5の部は、1次リーグ全勝の交野FCが御津を4－1と下し、6年ぶり2度目の優勝を果した。昨年の決勝と同じ組み合わせとなった準決勝の松山SSと交野FCとの試合は相方譲らず、0－0でタイム・アップ。PK戦で交野が昨年の雪辱を果した。

寒い中、正月早々遠方から来ていただいた招待チームを心から接待しようと、市内チームの父兄が協力して各会場で昼食時に「豚汁」がサービスされたが、ちびっ子の大会らしく、和やかなムードが生まれ、大変好評であった。

◀小6の部優勝　千歳SC

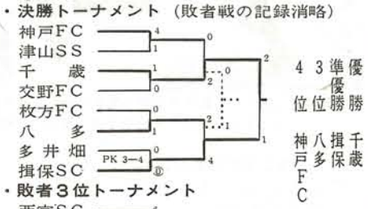
第11回ウインター・フェスティバル結果

【中学生の部】

- **1次リーグ**（A組）①神戸FC・A②愛知FC③神野SC（B組）①上野FC②津山SS③灘中（C組）①米子SS②交野FC③神戸FC・B
- **決勝リーグ**①神戸FC・A②上野FC③米子SS
- **2位リーグ**④愛知FC⑤交野FC⑥津山SS
- **3位リーグ**⑦神戸FC・B⑧神野SC⑨灘中

【小6の部】

- **1次リーグ**（A組）①神戸FC②枚方FC③西宮SC④神陵台（B組）①八多SC②津山SS③高倉台④長尾JSC（C組）①多井畑②千歳③加納西JSC④米子SS（D組）①交野FC②揖保JSC③蓮池SC④東灘
- **決勝トーナメント**（敗者戦の記録消略）



- **敗者3位トーナメント**

- **敗者4位トーナメント**

【小5の部】

- **1次リーグ**（A組）①御津JSC②松山SS③神戸FC④城西SC（B組）①交野FC②上野FC③米子SS④津山SS
- **決勝トーナメント**

- **敗者戦**

神戸FC　1－1　津山SS（PK 5－4）
城西SC　1－1　米子SS（PK 4－3）
神戸FC　1－1　米子SS
津山SS　1－1　城西SC

五輪予選終了後
記念試合

背番号9の似合う男

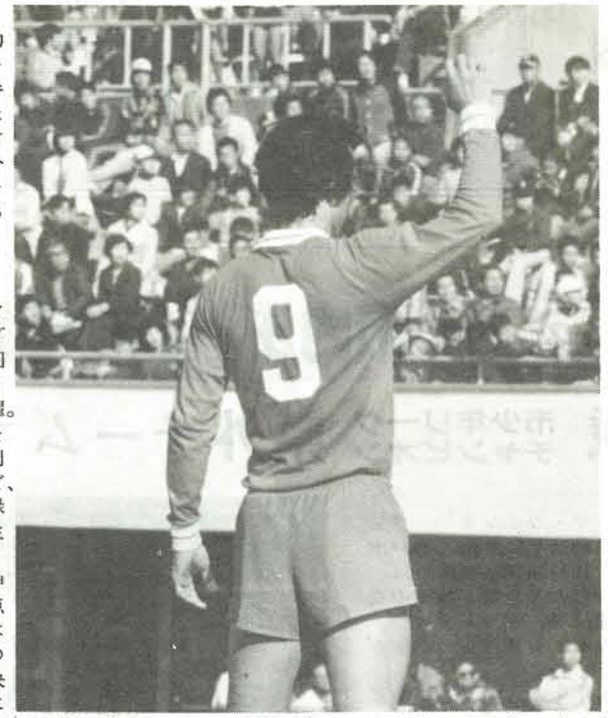
プロ根性支えたアマチュア精神

釜本（ヤンマー）現役を卒業

日本サッカーのエース・ストライカーとして世界的に有名なヤンマー・ディーゼルの釜本邦茂監督兼選手が2月13日、27年間にわたる現役選手生活から卒業することを明らかにした。今後は監督業に専念し、チームの強化と若手の育成にあたる。

世界のカマモト

釜本は42年に早大からヤンマーに入り、日本リーグ優勝4回、天皇杯優勝3回を達成するなど文字どおりチームの大黒柱として活躍。また、リーグ得点王7回をはじめ、56年には前人未到のリーグ200得点樹立など、日本サッカー界の得点記録をほとんど書きかえた。生涯のリーグ得点は202で、それをひもといてみると神戸中央球技場であげた得点が最も多く36。最初の点は同球技場が完成した44年の5月25日、古河電工戦で決めた。36点のうち1試合に4点をあげたのは、45年の日立戦と53年の東洋工業戦の2回。このほか2回のハットトリックも記録している。43年メキシコオリンピックでは得点王に輝き銅メダル獲得に大きく貢献、プロが主流を占める世界のサッカー界に一躍おどりでた。



52年9月、ペレのコスモス引退試合を最後に日本代表のユニホームを脱いだが、55年12月には世界のスタープレーヤーを集めた世界選抜軍の一員にベッケンバウアーらとともに選ばれ、世界の“カマモト”の名は不動のものとなる。

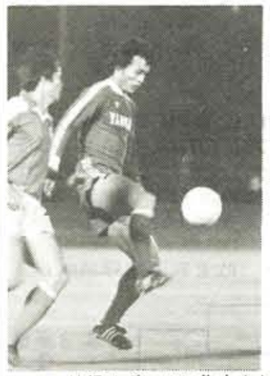
永遠なれサッカー王

サッカーをやっているときの自分は「プロ」だといきる釜本。サッカーならだれにも負けないという意味である。点を取ることにかけては異常なまでに闘志を燃やし、その“結晶”が空前絶後の543点（大学、社会人通算）なのである。

正月の天皇杯全日本選手権決勝が最後の試合となった。釜本自身その時すでに心に決めていたのであろうが、前もって発表しないところに彼の“照れ”がのぞいている。ファンが求めるサインに応じるのも苦手のようだ。そのあたりに誤解されやすい一面をみる。2月13日の記者会見でも最後まで「引退」の2文字を口にしなかった。「アマチュア選手に引退の言葉はおこがましい」という釜本の信条がそうさせたのであろう。

非凡な能力をもった釜本は、日本人として生まれるべきでなかったのかもしれない。しかし、われわれは“世界のカマモト”が日本人だったことを誇りに思う。釜本と同じ時代に生まれて、彼の素晴らしいプレーを生きたレンズにおさめられたことは本当に幸運だった。だが一度、たった一度だけでいい、赤いユニホームに身を包んだ釜本の豪快な右45度シュートがもう一度見たい。釜本が背番号「9」のユニホームを静かに脱いだあと、釜本以上に背番号「9」の似合う超人を、果たして見ることができるのだろうか。（上野）

▲ペレのコスモス引退試合で、釜本は日本代表のユニホームを脱いだ（52年9月14日、東京国立競技場）



▲▲神経はボールに集中され鋭い動きが相手を無力にする（いずれも55年4月23日、古河電工戦、神戸中央球技場）

▼左足が火を吹き、不滅の金字塔200ゴールが達成された（56年11月1日、本田技研戦、神戸中央球技場）

釜本選手の史上1位記録

日本代表通算得点	158
東西対抗通算得点	19
日本リーグ通算得点	202
〃 通算得点王	7
〃 連続得点試合	8
〃 ハットトリック	13

日本リーグ通算得点5傑

①	釜本 邦茂	（ヤンマー）	202
②	松永 章	（日 立）	82
③	碓井 博行	（日 立）☆	74
③	カルバリオ	（フジタ）	74
⑤	宮本 輝紀	（新日鉄）	69

（83年度までの記録、☆印は現役）

明日の栄光を勝ちとれ!

マーカム33
標準小売価格 ¥8,000

markam®
サッカーの基本フレーを徹底的に
追求し、機能性を第一に考えた
サッカーシューズ“マーカムシリーズ”

80年代をリードする
サッカーウェアー
younger®

MONTBLANC. リアル・スポーツの追求
モンブラン株式会社
神戸・東京・福岡

サッカー 教え方 学び方 〈23〉

協力 毎日新聞社

岩谷 俊夫

試合の見方③

自分を写してみよう

一流選手と自分のプレーを対比しながら考える（写真はレナト選手）

サッカー記者では一番古い朝日新聞の大谷四郎記者、サンケイ・スポーツの賀川浩記者と「マリ談義」でもしようものなら、1日が24時間では足りない。そんなときにいつも出るのは「このごろの学生は考えることをしないのではないか」という話だ。学生リーグなどで自分の試合がすんだらさっさと家へ帰る。それを見てつぎに自分の当たる相手を見ておこうという気にならんのだろうか、といった口調になる。自分のチーム内だけで練習していても、そこに国際的な感覚の選手が1人でもいる場合ならともかく、そうでなければ、みんな井の中の蛙（かわず）である。人のプレーをよく見て、自分の体に置きかえる。他のチームで自分と同じポジションの選手が一級品なら、試合中ボールとその選手を二つの目で一緒に見て、自分だったらあの場合どう動くかをいつも対比して考える。うまいプレーはなるほどなあ、ああいうぐあいにするのかと感心する。毎日毎日惰性で練習しているよりは、はるかにましである。一週間に一ぺんくらいは何かに感激し、何かを悟る。そして自分にムチを打つ。

日本の大学の練習量はヨーロッパのセミ・プロより多い。高校は同じくアマチュアより多いといわれる。7、8歳から自然にボールをなじんでいる外国とのキャリアの差を、あとで一気に埋めようとするのだから、その努力は大いに認めよう。だがそれにしてはつまらない理屈ばかりが先に立ち、あまり馬車馬的でありすぎるような気もする。

大会のときなどは確かに全員がそろって相手チームを見るのは不可能なときもある。そういうときに相手の正確な姿をつかむコーチの役割が出てくる。もっとも、全員で見た場合でも選手の理解能力はまちまちで、話し合いはガヤガヤしたものになる。それをまとめるのがコーチの役割だ。このチームは統率がとれているかどうかを見ようと思えば、試合前、ハーフ・タイム、試合後のベンチをのぞけばすぐわかる。「ワイワイ、ガヤガヤ」しているのは初級チーム。選手はみんな黙っているが、2、3人のコーチか先輩が、てんで勝手にしかったり、ある選手だけを呼んで注意しているのが中級チーム。選手が口をゆすぎ、パンツをゆるめ、汗をふき呼吸をととのえる。それがすんでから監督が短く、みんなにわかるように攻撃と守備に分け、あるいは1人ずつに対し要点だけを指示しているのが上級チームである。そこに選手の心理を見抜いたうえで自信ある指示を与えるコーチの能力が必要となる。何も言わないのは選手に不安を抱かせる。なんでもよい、ひとことですませる。

実際に相手を1度も見る機会のない場合はどうするか。1961年の第2回アジア・ユース大会（クアラルンプール）では日本はダークホースにあがっていた。それは新聞記者のインタビューの様子からうかがえた。どのチームのコーチも日本の練習をかいま見たいとねらっていた。そんなことよりムルデカ・スタディアムの芝と照明に慣れることが先決であった日本は、そういうことはおかまいなしに、堂々と公開練習をやったのである。もちろん武器はいわずと知れたIL 杉山、IR 桑田、CF 松本の俊足攻撃トリオだった。グラウンドに出るなりドリブルとサイド・キックをみっちりやった。さていよいよシュートという段になってバックとFWを入れ替えた。バックは普通のシュート、FWはそのうしろにいて弾丸のようなパスを送る。わたしはスタンドの上へあがって見ていた。1人の新聞記者が「攻撃陣は足が遅い」といった。杉山は第1回大会にも出ているが、それを忘れていたのであろう。少し策をろうしすぎたかな、と思ったが、スタンドには500人くらいの観衆にまじって各国のコーチがきていた。

これは一つの例であるが、コーチは何をおいても相手の練習を見に行かねばならない。そしてメモをたんねんにして、練習を見ただけでそのチームの特長をつかみ、強さを判断しなければならない。ユース大会では日本はその逆をいったのだが、それがうまくいったのかどうか、決勝リーグ進出第一のヤマとみられた第一戦のビルマに対し、立ちあがり相手が何もしないうちに、まず杉山が単独ドリブル・シュートして1点、続いて松本がすごいダイレクト・ショットを放って2点と、息つく間もなくリードしてヤマをのり越えたのであった。

高校の場合はそんな無理な要求はできないにしても、コーチは春から始まるいろいろな試合をできるだけ見るようにする。それから勝敗表も作っておき、自分の見たチームを中心に得点差などで大体の目安をつける。そのうえで伝統の力、地域差、コーチの傾向と手腕、それらをうまくしぼって春から夏、夏から秋にどの程度うまくなるかを判断する。そうしていくと現在の映像が曲がりなりにも頭の中のフィルムに現像されて出てくる。大会が始まってしまうと、その評価を現実の姿のまま目でみて正しく判断し、そのうえで相手のコーナー・キックのやり方、フリー・キックのポイント、さらにはだれがどの程度のリーダー役を果たしているかに検討を加える。

試合は一喜一憂して楽しみ、どちらかを応援しながら見たいものである。しかし長い習慣でそういう見方のできなくなったコーチは、ある意味ではつまらない人種かもしれない。

これは、日本サッカー界の憲法です。何かと参考にして、協会運営がスムースに行われますようご協力下さい。

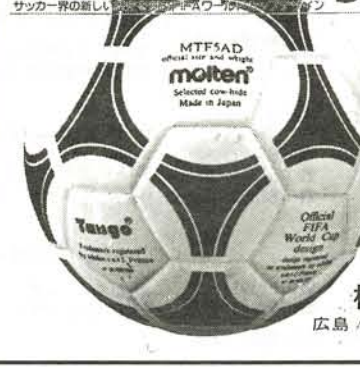
財産法人 日本サッカー協会寄付行為 ⑤

第3章 役員及び評議員

（役 員）
第15条 この法人には、次の役員を置く。
一 理事 18名以上、23名以内（うち会長1名、副会長2名又は3名専務理事1名とする）
二 監事 2名又は3名
（役員の選任）
第16条 理事及び監事は、評議員会で選任し理事は互選で会長、副会長及び専務理事を定める。
（理事の職務）
第17条 会長は、この法人の業務を総理し、この法人を代表する。
2 副会長は、会長を補佐し 会長に事故あるときはこれを代理する。
3 専務理事は、会長を補佐し、理事会の決議に基づき、日常の事務に従事する。
4 理事は、理事会を組織してこの法人の業務を議決し執行する。
（監事の職務）
第18条 監事は、この法人の業務及び財産に関し、次の各号に規定する業務を行う。
一 この法人の財産の状況を監査すること。
二 理事の業務執行の状況を監査すること。
三 財産の状況又は業務の執行について不整の事実を発見したときは、これを理事会、評議員会又は文部大臣に報告すること。
四 前号の報告をするため必要があるときは、理事会又は評議員会を招集すること。

（現役員）**会長** 平井富三郎、**副会長** 藤田静夫、島田秀夫、**専務理事** 長沼健、**理事**（関西出身としては）吉江経雄ほか18人、**監事** 高村順二、西村章一、二宮洋一

充実のモルテン Tango タンゴ



株式会社モルテン
広島／東京／大阪／名古屋／福岡／札幌